





国民健康保険係からのお知らせ

ご存知ですか!?

社会保険等の被扶養者を認めてもらうと 国民健康保険でなくなり その分保険税が掛かりません

“あなたの家族の健康保険加入は適正でしょうか”

事例

小須戸 太郎		世帯主 (70歳) 国民健康保険 無職 [収入額 (年金) 160万円]	⇒ 社会保険被扶養者該当
一郎		長男 (45歳) 社会保険 会社員 [収入額 650万円]	⇒ 社会保険
花		長男の妻 (43歳) 国民健康保険 パート [収入額 135万円]	⇒ 国民健康保険
みどり		長男の長女 (20歳) 社会保険被扶養者 アルバイト [収入額 115万円]	⇒ 社会保険被扶養者

○被扶養者の認定基準は

《60歳未満の人 → 収入130万円未満 60歳以上の人 → 収入180万円未満》

Q. 社会保険に家族(被扶養者)を入れると保険料は高くなるのでしょうか。



A. 社会保険の保険料は、その人の給与額によって計算されます。したがって、被扶養者があっても(無くても)、増えても(減っても)、影響はありません。

《該当すると思われる場合、会社等の

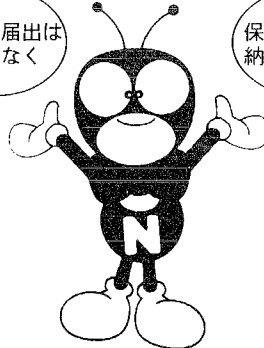
保険担当者に相談してください》

面倒がらずに 社会保険等の被扶養者への 手続きを

《資格の適用にご協力ください》

詳しいことは、国民健康保険係へ (☎38-3111 内線139番)

年金の届出は
お忘れなく



保険料は必ず
納めましょう

新潟県国民年金
マスコットゆめあり
(夢あり) 君

ゆめあり通信

会社を退職したあなたは 国民年金の第一号被保険者です

日本国内に住む、二十歳以上六十歳未満のすべての人は、国民年金に加入することになります。

会社員として厚生年金に加入していた期間は、第二号被保険者として国民年金に加入し、国民年金の保険料を納めた期間になります。

あなたが二十歳以上六十歳未満で退職したときは、役場で必ず国民年金の第一号被保険者の手続きをしなければなりません。

老齢基礎年金を受けるには、国民年金の保険料を納めた期間などが原則として最低でも二十五年以上あることが必要であり、満額の老齢基礎年金を受けるには二十歳から六十歳までの四十年間の保険料を納めることが必要です。

もしも、保険料を納めた期間などが二十五年に満たない場合は、老齢基礎年金も老齢厚生年金も支給されなくなることがあります。

また、国民年金の保険料を未納のままにしていると、万一のときの障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられないことがあります。

ます。

あなたの大切な年金を受けるため、忙しくても国民年金の手続きを行い、保険料は忘れずに納めましょう。

*「保険料を納めた期間など」
・国民年金の保険料を納めた期間

間

(免除期間を含む)

・厚生年金や共済組合に加入した期間

・第三号被保険者だった期間

(昭和六十二年四月一日以後)

・任意加入しなかった期間

など

国民年金の種別が変わったときは届出が必要ですよ

就職・転職・退職などにより種別が変わったときは、役場への届出が必要です。

特に、第三号被保険者の人は本人だけでなく、配偶者の就職・転職・退職などによっても、種別が変わりますので忘れずに届出してください。

あなたの大切な年金です。どんなに忙しくても、届出は忘れずに!

ねんきんの8つの特典

①年金の三分の一を国が負担します

国民年金は、国が責任をもって運営しています。また、支払われる年金のうち三分の一を国が負担することになっています。

②年金額は物価スライドします

年金額は、物価の上昇に合わせて引き上げられます。

③税金が安くなります

納めた保険料は、年末調整や確定申告のときに申告すれば、全額が社会保険料控除の対象となります。

④国民年金基金でより豊かな老後を

「第一号被保険者」で、将来より豊かな老後を送りたいと考える人は、老齢基礎年金の上乗せ年金として国民年金基金に加入できます。

⑤年金教育資金貸付制度がご利用になれます

国民年金または厚生年金の加入期間が十年以上あり、最近の二年間の保険料を納付している人は、その親族・本人が高校・大学に入学または在学中の場合に貸付を受けることができます。

⑥マイホーム資金がかりやすくなります

三年以上国民年金に加入し、最近の二年間の保険料を納付している人は、加入期間に応じて低利の住宅資金が借りられます。



⑦年金担保貸付

年金を受けている人(老齢福祉年金を除きます)は、年金権を担保に、年金額の一、五倍以内で、最高二百五十万円まで借りることができます。

⑧国民年金健康保養センターへ

全国各地の自然公園や温泉などの恵まれた環境のなかに「国民年金健康保養センター」があります。ご家族連れやグループ旅行に最適です。

国民年金加入者や受給者は一般の人より安い料金で利用できます。